

学校 番号	62	学校名	松川 高等学校
----------	----	-----	---------

平成29年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【平成29年6月15日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

1 学校概要説明

- ① 学校評価について
 - ・本年度の重点目標について
 - ・学校評価委員会の基本方針と年間計画について
- ② 教育課程委員会より
 - ・「エリア型教育課程」について
- ③ 進路状況について
 - ・今年度の主な進路指導計画について
 - ・過去4年間の進路状況について
- ④ 生徒指導について
 - ・本年度の重点指導について
 - ・本年度これまでの生徒指導状況の報告
- ⑤ 生徒会活動について
 - ・本年度の方針、および具体的活動について
 - ・東北被災地支援活動「花という笑顔を東北へ」の報告
- ⑥ 各学年主任より
 - ・各学年生徒の現状と活動予定などについて

2 意見交換

- ・学校概要説明に関連して、各評議員より今年度の方針・具体的活動指導計画等に対する質疑および意見交換をおこなった。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 会議資料を事前に委員へ送付し、委員の方々からご意見をいただく時間を十分とるように努めた。
- 2 授業参観が可能なように授業公開期間中に評議員会を開催した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 1 地域では、地元に残って活躍してくれる生徒への期待が大きいので、地域密着の方針を進めてほしいという意見が出された。
- 2 地元保育園児との交流では、他では経験できない世代を超えた関わりをもつことができると評価していただいた。
- 3 自分の意思を表に出せない若者が増えている。仕組みを変えることで意見を出しやすい環境作りが必要であるとの意見が出された。
- 4 地域に根付くためには、他の地域を見てそれをフィードバックすることが必要であるので、東北支援の活動は今後も継続させてもらいたいとの意見が出された。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 1 本校生徒の状況や活動について、地域から概ねよい評価を受けている。今後も地域と連携した活動を継続させることが必要である。
- 2 人口減少、高齢化により、人材確保という課題をもつ地域において、「エリア型教育課程」を生かした進路指導を充実させ、地域からの期待に更に応えられるようにしていくことが必要である。